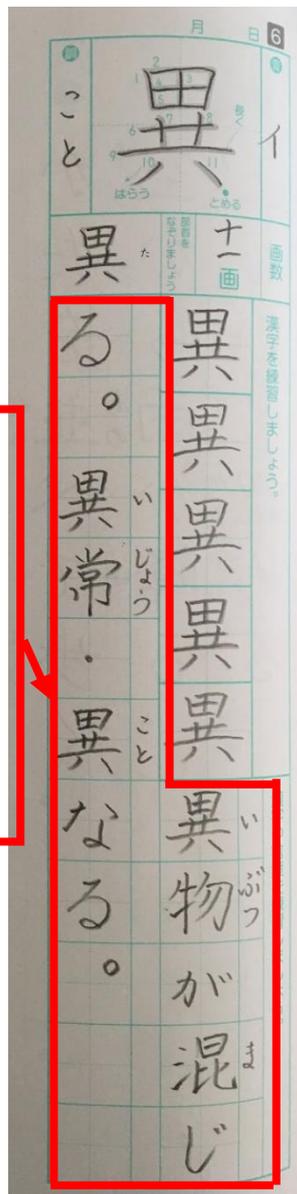


国語六年 家庭学習について②

日にち	内容
五月十一日～ 十五日	漢字ドリル ④、⑥、⑨、⑩ (④は丸付けをする) 漢字ばっちりノート p2～p13 (進め方は「漢字ばっちりノートの進め方」を参照) 書写ノート p2～p3 ワークシート①
五月十八日～ 二十二日	漢字ドリル ⑬、⑭、⑰、⑱ (⑱は丸付けをする) 漢字ばっちりノート p14～p29 書写ノート p4～p5 ワークシート②
五月二十五日～ 二十九日	漢字ドリル ⑳、㉑、㉓、㉔ 漢字ばっちりノート p30～p50 書写ノート p6 ワークシート③

# 漢字ばっちりノートの進め方

## ・新出漢字

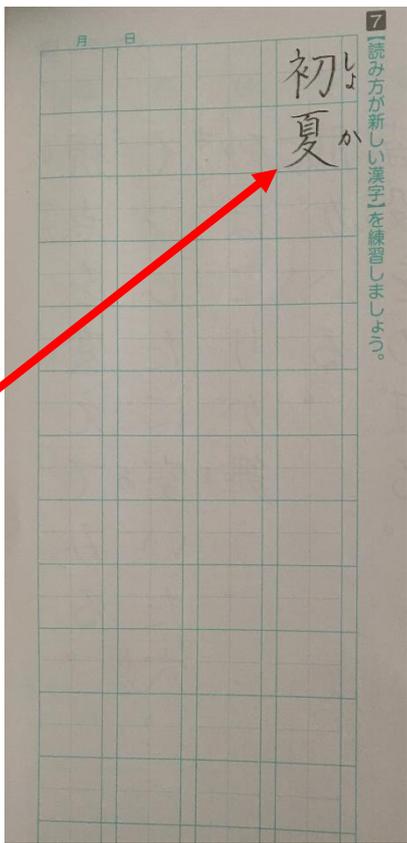


## ・読み方の新しい漢字

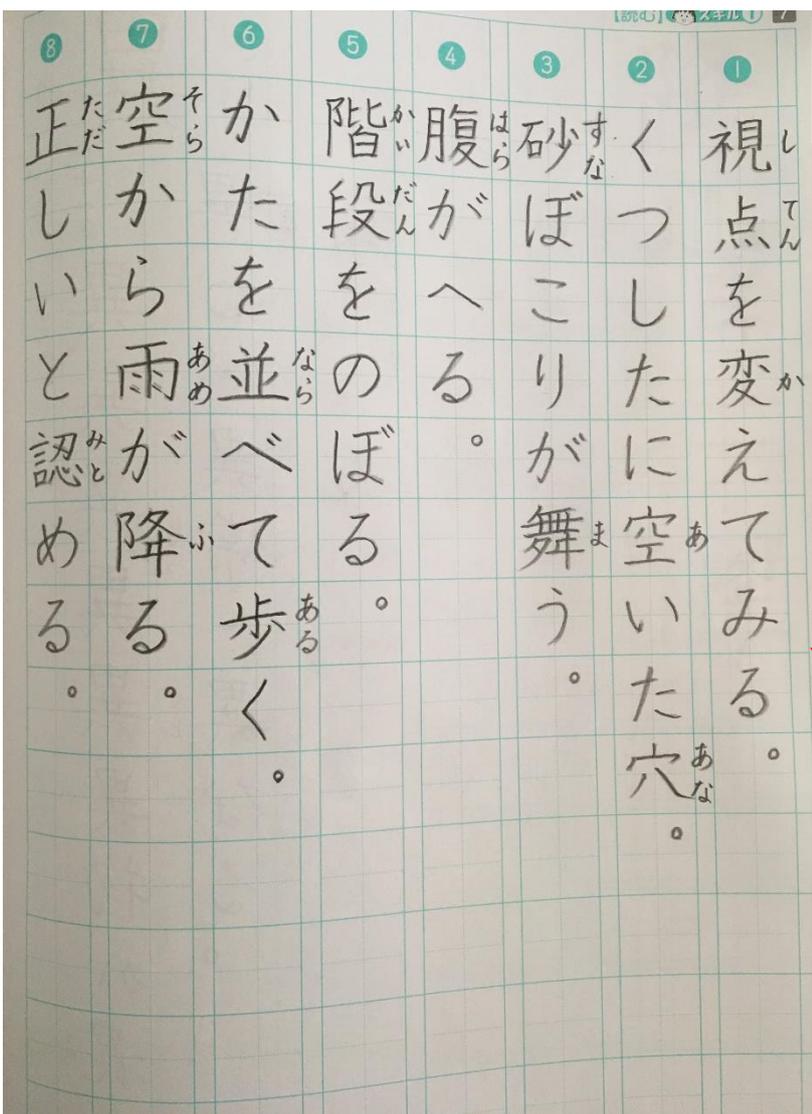
漢字ドリルに書いてある例文を書きましょう。

## ・練習

該当ページの例文を一回書きましょう。読み方も書きます。下の空いているマスには、新出漢字を何度も書いてもよいです。



例えば、漢字ドリル7の方のように、読むページの下の方に新しい読みの漢字が書かれていることがあります。手本のように、一回だけでよいですが、余力のある人は何回も書く。「夏期」「炎夏」など、他の熟語を探して書く。などしても良いです。



# 笑うから楽しい

名前 ( )

「笑うから楽しい」と「時計の時間と心の時間」の筆者は、ともに心理学者です。二人の筆者がどのような事例を挙げて、どのような主張をしているのか明らかにしていきたいと思います。



○ 一回音読しましょう。

○ ※ 「しかし」や「つまり」などの接続詞を見ていくと、話の流れがよく分かります！  
 ○ 教科書を見ながら、□に入る言葉を書きましましょう。

## 初め

① 文章の「初め」には話題が示されます。この文章の話題は何でしょうか。

筆者が文章を通じて伝えたいこと(主張)が書かれています。文末に注意してもう一度①を読み、「くということ」につながるように書きましましょう。

とらうこと

## 中

②③には、①の主張に対する事例が挙げられています。どのような事例を挙げているか、「くこと」につながるように書きましましょう。

④ 筆者の主張がもう一度書かれています。「くということ」につながるように書きましましょう。

とらうこと

## 終わり

この文章は「初め」と「終わり」で二回、筆者の主張が書かれています。このよ  
 うな書き方を「**双括型**(そうかつがた)」の文章と言います。文章には、そ  
 れ以外に「初め」にだけ主張がある「**頭括型**(とうかつがた)」。 「終わり」  
 にだけ主張がある「**尾括型**(びかつがた)」があります。  
 それぞれの型の効果は、またみんなで確かめていきましょうね。



時計の時間と心の時間

名前 ( )

○ 一回音読しましょう。

○ 教科書を見ながら、□に入る言葉を書きましょう。 ※ 接続詞に注意して、話の内容を理解していきましょう。

むすび	まとめ	なか			はじめ	
主張	考察	人によっ て違 う具 体例	さまざまな事柄の影響を 受ける、 <u>具体例</u>		話題提示 (+筆者の主張)	
<p>○生活の中で「( ) 向けることが大切。 ( ) の時間」に目を ○「心の時間」を頭に入れて、 「( ) の時間」を ( ) して使うという、 ( ) 「時間」と付き合う ( ) ( )が必要。</p>	<p>○「( ) の時間」が必要。 ○「時計の時間」と「心の時間」には、 必ず ( ) ( )が生まれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なかの具体例（「心の時間」の特性）を 踏まえて、筆者が考えたこと。</p> </div>	<p>さらに、「心の時間」には ( ) という特性がある。( )</p>	<p>( ) によって、進み方が変わる例。 ( )</p>	<p>( ) によって、進み方が変わる例。 ( )</p>	<p>( ) によって、進み方が変わる例。 ( )</p>	<p>「時間」には ( ) ( )の時間」と ( )の時間」がある。 ↓筆者は、 ( )の時間」に目を向けることが重要だと考えている。  「時計の時間」と 「心の時間」の ( ) ( ) について</p>



